



### 会員の相互啓発で専門性向上を

会長 桐村 晋次



新年おめでとうございます。昨秋の大会で新しく学会長に選出された桐村です。本学会の設立趣旨の実現に向けて努力いたします。会員各位のご指導・ご支援をお願いします。

本学会は「企業体や公共体、学校、病院、施設、諸団体などを幅広く視野に入れ、そこに働く勤労者の健康、福祉、能力開発に貢献することを目的として、実践的なカウンセリングの研究活動を推進」することを課題としています。産業カウンセリングは、メンタルヘルスとキャリア形成支援を2つの柱としています。いずれも人の心と深くかかわりを持つもので、複合的に現れることも多く、産業・組織フィールドで研究者と実践家がメンタルとキャリアの両面から力を合わせてこの難問に対処しよう、ということ。メンタルとキャリアの専門家のコラボレーションは、本学会の大きな特徴です。

さまざまな分野で研究や実践に取り組んでいる会員が、相互に学び合うことが本学会の活動の基本です。学者・研究者は実践家を通じて労働現場に学び、実践家は研究の成果を学習する

ことが大切です。

会員が進んで学会活動に参加したくなるように、本学会の研究大会、研修会や各地で開かれるであろう学習会は“出席して楽しい”ものにしなければなりません。そのために、会員が互いに基本的人権を尊重し、立場や意見に敬意を払い、対等の立場で議論できるようにしたいものです。諸会合で顔が合ったら、初対面でも明るく挨拶することから始めましょう。セクハラ・パワハラはもちろんのこと、人を不快な気持ちにさせないように丁寧な言葉遣いに努めたいと思います。

会員の知恵を結集するために、年齢や性別にとらわれず、また学会や企業内などの立場や序列にとらわれる「タテの人間関係」を克服し、社会貢献と向上心で結ばれた友情「ヨコの人間関係」を維持したいものです。

私たちをとりまく経済や労働環境が、世界的な規模で変わろうとしています。こういう不測の時代だからこそ、職業・年齢・性別を越えた学際的な“学びの場”が求められているのです。学習の機会を作り、相互啓発を進めていくのは会員の熱意です。困難な局面に入りつつある社会の発展に寄与するために、力を合わせて行きましょう。

(略歴)

東京大学法学部、筑波大学大学院カウンセリング専攻、古河電工(株)人事部長、常務取締役、古河物流(株)社長、神奈川大学経営学部教授を経て、現在法政大学大学院教授

# 「働く人」を支援する研究と実践を

名誉会長 木 村 周



本学会が発足13年を迎え、桐村晋次新会長のもとに新たな発展期を迎えることを心から喜びます。前会長、設立以来の一会員として本学会に期待することを申し述べます。

## 1. 「研究者と実践家が、あらゆる意味で対等である」ことを大切にしてもらいたい。

本学会は、研究者、実践家、高度の専門性を有する職業人の多様な人々の集団です。活躍分野も教育、行政、企業、医療・福祉、地域社会などにおよび、学問分野も心理学のみならず教育学、社会学、経営学、経済学、法律学、医学、看護学、福祉関連諸科学など多岐に及びます。「あらゆる意味で対等である」とは、研究や実践の自由は勿論、細かく言えば研究論文の判定基準にいたるまでの学会活動すべてです。

働く人のカウンセリングの研究と実践が、ある学問の、その中の一つの理論だけで左右されるはならないことは、今や大学を含む社会全般の常識だと思います。会員がそのことを実感して学会活動に参加できるよう従来にも増して留意して欲しいと思います。

## 2. 「現場で、働くこと」を支援する研究と実践に心がけてもらいたい。

今のところ我が国における学会や職能団体が共有する「産業カウンセリングとは」という定義はありません。しかし、私は産業カウンセリングの本質の一つに「働くこと」を除いて考えることは出来ないと思います。少なくとも社会科学分野に関する限り、その問題意識や問題をとらえる感性を「現場」におかない研究は、如何にその研究手法などが形式的に整っていてもよい研究とは言えないと思います。

私は永年にわたってカウンセリングとガイドランスの実践と教育・研究に携わった経験の中から、「真実は、現場の中にしかない」と確信するようになりました。本学会の研究は「働く現場の中の問題をとらえ、それを科学的に調査・研究し、その結果を現場にフィードバックし、それを現場が実践し、さらに新しい研究に結びつく研究」でありたいと思います。産業カウンセリングの実践は「現場」にしかないことは当然です。

## 3. 「深さと広がり」を持ったカウンセラーを支援する学会であって欲しい。

今日あらゆるカウンセラーは「深さと広がり」を求められていると私は考えます。この2、3年本学会は着々とその準備をしてきました。カウンセラーの専門性への支援のために永年の懸案であった本格的な「スーパーバイザー養成講座」が開始されます。また、新たな構想の下に学会員の地域活動の支援が開始されようとしています。

私は研究にも実践にも、根拠に基づく優れたバランス感覚が必要だと考えます。新たな発展時期を迎えた本学会が、あらゆる意味で「社会に開かれた」学会としてますます発展することを心から期待しています。(完)

## 日本産業カウンセリング学会のあり方

昨年の第13回大会において発表された将来計画特別委員会の報告の概要は以下の通りです。本委員会はこの報告をもって任務を終了し解散しました。(桐村記)

### 【1】産業・組織フィールドにおけるカウンセリングをとりまく状況

1. グローバリゼーション、メガ・コンペティション、技術革新、食糧・資源の争奪の下で、日本的経営が大きく変化している。
2. 成果重視の人事評価、非正規労働の増加、長時間労働等により、うつ病、自殺者などメンタルケアを必要とする問題が増加している。
3. 産業構造、就業構造の変化に伴い、労働関係が多様化し、集团的労使関係から、個別紛争処理に移行し、法律の改正が続いており、労働経済や法制度についてカウンセラーが学ばなければならないことが急増している。
4. 雇用問題が深刻化しており、いっそうのキャリア形成支援が求められている。
5. 学会には、社会の動きに対応した臨床実践学のセンターとしての役割が期待されている。
6. 事後対応から事前予防への転換が重要である。

### 【2】学会が取り組むべき課題

1. 産業・組織カウンセラーの専門性向上
  - ①スーパービジョン  
スーパービジョン委員会（平木委員長）は、12月21～23日の3日間15名が合宿し、新年からの研修開始に向けて最終の準備を整えた。

②次年度の学会研究大会の質的向上への準備

2. 産業・組織フィールドに働くカウンセラーの教育、多様な知識の習得の研修機会の充実

3. 地域活動の活性化

学会員が各地域で学習会、研修会や公開講演会を計画する際には、講師派遣や周辺地域へのPRなど学会本部で手伝えることを支援する。こうした企画は、研修、研究、地域活性化や社会活動などの複数の委員会と接点を持つので、学会事務局にご連絡いただき相談・連絡することとする。

東北および東海など学会員の多い地域では拠点（支部）作り、将来的には学会の研究大会開催を目指す。

4. 会員への情報提供

学会機関誌の年2回発行を目指す。会員の発表の機会を多くするために、論文の形式にこだわらず、冒険（解に近いものを求める試み）も歓迎する。

学会報を年4回発行し、学会の活動報告や学会員の意見交換の場とする。

5. 企業・組織へのマネジメントに対するカウンセリングの普及活動

経営者、管理者に対する広報活動。各地域での他の関連団体との連携

6. 事務局機能、規定類、ルールの整備

## 委員会職務分掌規程

本規程は、日本産業カウンセリング学会の委員会および事務局の職務範囲と責任範囲を明確にし、学会活動の組織的かつ効率的な運営を図ることを目的として定める。

1. 総務委員会
  - ①諸規程に関する事項
  - ②予・決算管理に関する事項
  - ③労務費・出張手当等人件費に関する事項
  - ④学会事務所の貸借や管理、その他庶務事項
  - ⑤その他、他の委員会に属さない事項
2. 研修委員会
  - ①研修会の企画及び実施
  - ②その他会員の能力向上支援に関する事項
3. 研究委員会
  - ①会員の研究活動への支援
  - ②産業カウンセリングに関する研究課題の設定
  - ③産業カウンセリングに関する研究課題の探求と発表
4. 編集委員会
  - ①学会誌の編集に関する方針の立案
  - ②学会誌の編集と発行
5. 広報委員会
  - ①学会の方針や諸活動に関する情報の会員への提供
  - ②学会活動の社会への情報提供
6. 社会活動委員会
  - ①産業カウンセリングの社会への普及啓発活動
  - ②企業・諸機関・団体等への産業カウンセリングに関する支援活動
7. 地域活動委員会
  - ①学会活動の組織化が未整備の地域における学会活動の支援
  - ②近畿支部の活動の支援
  - ③学会の地域活動モデルの企画と構築
8. S V 委員会
  - ①スーパービジョンに関する研究
  - ②スーパービジョンに関する会員教育
  - ③スーパービジョンに関する研究成果の社会への普及啓発活動
9. 倫理委員会
  - ①産業カウンセリングに関する倫理の研究
  - ②産業カウンセリングに関する倫理の実践と普及啓発活動
10. 2009 年度研究大会  
準備委員会
  - ① 2009 年度研究大会の準備
11. 事務局
  - ①学会の年間活動計画の作成
  - ②会員の入・退会管理
  - ③諸経費の管理
  - ④総会・常任理事会等に関する事項
  - ⑤研修会・シンポジウム・SV 養成講座等に係る事務
  - ⑥その他委員会に属さないものについて、総務委員会より指示のあった事項

施行日 この規程は平成 20 年 12 月 1 日より施行する。

## 第 79 回常任理事会 議事録

日 時 平成 20 年 11 月 29 日（土）18：30～21：00  
場 所 法政大学市ヶ谷キャンパス  
出席者 16 名  
欠席者 なし

改選後第 1 回目の常任理事会であったので会長・事務局長及び各常任理事が自己紹介を行った後、審議が始められた。

### 1. 審議事項

#### (1) 入会希望者・退会希望者について

入退会について検討を行った結果、承認された。入会審査基準について総務委員会で検討することになった。

#### (2) 委員会の分掌（所管事項）

文言を修正の上承認された。なお、将来計画委員会と渉外委員会は廃止され、社会活動委員会と地域活性化委員会に発展したことが確認された。

#### (3) 理事の所属委員会の確認

#### (4) 第 1 期スーパーバイザー（S V' or）養成講座（案）について

平木典子 SV 委員長より説明があり、日程・募集要項・養成講座受講者の選考・講師の依頼について検討を行った結果、SV 委員会へ一任することが承認された。

#### (5) 学会会則等の改訂について

顧問に関する運用内規が文言を修正した上で承認された。

#### (6) 名誉会長、特別顧問について

顧問に関する修正運用内規に基づき杉溪名誉会長に特別顧問に就任いただくこと、および木村前会長を名誉会長に推薦する件が承認された。ただし、名誉会長選任の件は会則第 8 条に基づき理事会の承認事項であるため、書類によって諾否を理事会に諮ることとなった。

### 2. 報告事項

#### (1) 第 13 回大会報告

大会準備委員長・同事務局長より報告があった。

#### (2) 職場のメンタルヘルス連絡会議への出席及び発表について

宮城副会長より説明があり、宮城副会長及び木村前会長が当該大会において発表することが報告され、承認された。

#### (3) その他

##### ・第 78 回常任理事会議事録について

議事録については次回よりメールにて各理事に送付し、その確認を受けた上で HP へ UP することが承認された。

##### ・JAIC ニュースレターの登録の件

事務局長より登録者数を増やすよう常任理事への協力要請があった。

##### ・日心連会議の出席について

会長及び事務局長が出席することが報告された。

以 上

## 街かど短信

ボランティア特派員を募集しています。あなたも会報づくりに参加しませんか。

**埼玉** 目下、就活中。現4年生は内定取り消しがあつたり大変のようだけれど、合説（合同説明会のこと）でも沢山の企業が来ていて、盛況。不景気を感じがあまりしない。－大学3年生の声－。大企業は景気悪化で新卒採用を減らしているが、中小企業は逆に増えている。いい人材を獲得する絶好の機会ととらえているようだとのこと。－某大学就職部の声－  
世の中、全てが悪くなるということはないということか…。

宮崎圭子

**大阪** 11月日大阪で「スーパーバイザー養成講座説明会が開催されました。参加者は四国から1名、京阪神地区の6名、男性は1名のみ。説明は今野常任理事で事務局は三川支部長。いろいろ熱心な質疑が行われたがポイントは以下の通り。

- (1) このスーパーバイザーは産業界で活動するカウンセラーのためのスーパーバイザー（産業カウンセラーのためだけのスーパーバイザーではない）
- (2) スーパーバイザー認定制度はあるが、「スーパーバイザー養成コース」は斯界初めての制度で画期的なところみ
- (3) 研修システムはこれから始め開発しながら、進めながら創り上げ構築する
- (4) 認定のための試験・面接は特に行わず、研修過程の参加ぶりにより判定されるが、本研修参加動機やカウンセリングやスーパービジョンについてのスタンスやポリシーも重視される
- (5) 学会としてのスーパービジョンのシステム化については未だ検討されていないとのことであった。

飯田

**徳島** 労働基準協会連合会、および産業保健推進センターで開催している無料研修やセミナーについては、経済危機の影響による参加者数の減少は現在のところあまり見られない。しかし、参加者はほぼ同じ方々が多く、周知への連携等もはかると共に、いかに多くの企業等の皆様に参加して頂くかが今後の課題である。

川上晃代

**東京** 世界的な金融危機の影響か企業向け研修会の参加者が減少している。都内の労働基準協会が実施する有料の研修会は例年に比べ申し込みの出足が鈍く、東京産業保健推進センターの無料研修でもキャンセル待ちであった講座がふたを開ければ参加率60%に落ち込むなど。これがDepressionか。古山

## 委員会からのお知らせ

**編集委員会** 学会誌の編集・発行をお手伝いいただける方を若干名募集します。

希望者は事務局までお申し出ください。

**広報委員会** 年間4回の定期発行を目指して、学会報の取材にご協力いただける方を募集します。

希望者は事務局までお申し出ください。

今後の会報発行予定	主な内容	原稿締切日
4月	各委員会の予定	3月15日
7月	第14回日本産業カウンセリング学会のお知らせ	6月15日
10月	第14回日本産業カウンセリング学会と総会の報告	9月15日

## 日本産業カウンセリング学会役員

H20.10. 総会～H23.10. 総会まで

役 職	氏 名	所 属	所属委員会
名誉会長	木村 周	東京成徳大学大学院客員教授	
会 長	桐村 晋次	法政大学大学院教授	
副 会 長	楡木 満生	立正大学教授	総務 / SV
	宮城 まり子	法政大学教授	研究
特別顧問	杉溪 一言	日本女子大学名誉教授	
顧 問	上野 久男	(株)地下鉄ビルディング顧問	
	大沢 武志	産能大学大学院客員教授	
	高田 勲	中央労働災害防止協会顧問	
常任理事	奥津 眞里	(独) 労働政策研究・研修機構統括研究員	総務
	上脇 貴	持田製薬(株) 総務・人事部副部長	総務
	川上 範夫	奈良女子大学教授	地域活性化 / 研修
	今野 能志	(株) 行動科学研究所代表取締役	研修
	倉戸 ヨシヤ	福島学院大学教授	編集
	堤 貞夫	NPO 法人日本キャリア・カウンセリング研究会事務局長	社会活動
	平木 典子	東京福祉大学大学院教授	SV
	廣川 進	大正大学准教授	研究
	古山 善一	(社) 全国労働基準関係団体連合会事業部調査役	広報
	三川 俊樹	追手門学院大学教授	研修 / 地域活性化
森田 一寿	目白大学大学院客員教授	倫理	
監 事	杉 忠重	東洋学園大学教授	
	渡邊 祐子	ワークナビ研究所代表	
事務局長	上脇 貴	持田製薬(株) 総務・人事部副部長	
理 事	浅川 正健	伊藤忠商事(株) 人事部キャリアカウンセリング室長	総務
	五十嵐 敦	福島大学教授	研修 / 研究
	緒方 一子	東京地下鉄(株) 臨床心理士	SV
	小澤 康司	立正大学准教授	SV
	下村 英雄	(独) 労働政策研究・研修機構副主任研究員	編集
	寺田 正美	(株) 寺田国際事務所・先端医療技術研究所取締役	SV
	根本 忠一	(財) 社会経済生産性本部メンタル・ヘルス研究所研究主幹	地域活性化
	長谷川 啓三	東北大学教授	地域活性化
	平川 完	(財) 関西カウンセリングセンター常任理事	社会活動 / 研究
	増井 武士	東亜大学大学院客員教授	地域活性化
	松下 由美子	山梨県立大学教授	倫理
	松原 達哉	東京福祉大学大学院教授	倫理 / 研修
	宮崎 圭子	跡見学園女子大学准教授	SV
	村瀬 旻	立正大学教授	編集
	諸富 祥彦	明治大学教授	広報
	山本 克英	メンタルサポート オフィス・アガベ代表	地域活性化
	吉田 博	(財) 早稲田奉仕園専務理事	社会活動
	渡部 卓	(株) ライフバランスマネジメント代表取締役	研究

### 日本産業カウンセリング学会賛助会員

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
(財)関西カウンセリングセンター
(株)リクルートマネジメントソリューションズ
(株)地下鉄ビルディング
(株)金子書房
(株)フィスメック
(株)タナベ経営
(財)労務行政研究所
(株)ライフバランスマネジメント
マインドセットプレイス(有)
(株)ヒューマニーズ
(株)日本・精神技術研究所
(株)日本公文教育研究会
(株)メディカルコンパス

# 新入会・退会状況

平成 20 年 4 月 18 日現在													
入会者 (1 名)				退会者 (12 名)									
永口 京子	えいぐち きょうこ	磯崎 麗子	いそざき れいこ	樋口 真弓	ひぐち まゆみ	林 彰	はやし あきら	土屋 節枝	つちや せつえ	中原 秀子	なかはら ひでこ	鈴木 道弘	すずき みちひろ
		舟木 敦史	ふなき あつし	山口 仁子	やまぐち さとこ	斉藤 清	さいとう きよし	植草 真理子	うえくさ まりこ	五十嵐 康子	いがらし やすこ	本田 孝徳	ほんだ たかおり

平成 20 年 6 月 13 日現在													
入会者 (17 名)				退会者 (20 名)									
喜岡 恵子	きおか けいこ	田中 暢子	たなかのぶこ	川崎 英子	かわさき えいこ	中島 孝行	なかじま たかゆき	原田 幸三郎	はらだ こうぞぶろう	武内 正和	たけうち まさかず	薮野 美恵子	なぎのみえこ
佐藤 和彦	さとう かずひこ	田崎 悦子	たさき えつこ	神山 文男	かみやま ふみお	武藤 真由美	むとう まゆみ	菅原 浩	すがわら ひろし	生原 広一	はいばら ひろかず	小田 真梨子	おだまりこ
菅原 浩	すがわら ひろし	太田 民子	おおた たみこ	中嶋 正雄	なかじま まさお	谷川 佳子	たにかわ よしこ	毛利 弘美	もうり ひろみ	徳島 基弘	とくしま もとひろ	中嶋 正雄	なかじま まさお
根津 克己	ねづ かつみ	加藤 集	かとう しゅう	鹿島 和	かしま かずし	宮腰 慶明	みやこし よしあき	根津 克己	ねづ かつみ	徳島 基弘	とくしま もとひろ	鹿島 和	かしま かずし
保科 祥子	ほしな さちこ			馬田 尚美	うまだ なおみ	堀家 茂美	ほりいえ しげみ	保科 祥子	ほしな さちこ			馬田 尚美	うまだ なおみ
松尾 一廣	まつお かずひろ			村上 由紀子	むらかみ ゆきこ	熊部 義夫	くまべ よしお	松尾 一廣	まつお かずひろ			村上 由紀子	むらかみ ゆきこ
齊藤 敏機	さいとう としき			宮永 満祐美	みやなが まゆみ	岩崎 三知代	いわさき みちよ	齊藤 敏機	さいとう としき			宮永 満祐美	みやなが まゆみ
美野 直子	みの なおこ			野村 泰江	のむら やすえ	水野 育之	みずの やすゆき	美野 直子	みの なおこ			野村 泰江	のむら やすえ

平成 20 年 8 月 6 日現在													
入会者 (10 名)						退会者 (3 名)							
澤井 道弘	さわい みちひろ	碓 明生	いかり あきお	牧野 公彦	まきの きみひこ	那須 恵子	なす けいこ	勘沢 真由美	かざわ まゆみ	荻原 英人	おぎわら ひでと	永口 京子	えいぐち きょうこ
松田 直美	まつだ なおみ	五島 史行	ごとう ふみゆき	久保 真理	くぼ まり	嘉数 美智子	かかず みちこ	馬場 洋子	ばば ようこ	矢野 幸子	やの さちこ		

平成 20 年 10 月 17 日現在													
入会者 (6 名)						退会者 (2 名)							
古澤 知佳	ふるさわ ちか	喜多村 誠人	きたむら まこと	片岡 瑞恵	かたおか みずえ	木村 尚則	きむら ひさのり	井上 牧子	いのうえ まきこ	根来 伸至	ねごろ しんじ	田中 節子	たなか せつこ

平成 20 年 11 月 29 日現在													
入会者 (10 名)						退会者 (2 名)							
風間 順治	かざま じゅんじ	渡部 昌平	わたなべ しょうへい	長坂 廣幸	ながさか ひろゆき	井上 千恵子	いのうえ ちえこ	豊田 崇克	とよだ たかよし	浅田 美果	あさだ みか	蜂谷 勝秀	はちや かつひで
牧原 一馬	まきはら かずま	富澤 満秋	とみざわ みつあき	中村 文恵	なかむら ふみえ	小杉 恭男	こすぎ やすお						

## 事務所移転のお知らせ

平成 21 年 1 月 9 日 (金)、学会事務局がこれまでお世話になった立正大学小澤研究室を離れ、新たに事務所を構えました。

総武線飯田橋駅から徒歩 3 分と、交通の便に恵まれた場所にありますので委員会活動等に大いにご活用いただけます。

この事務所が、学会会員の皆様のメリットに繋がるような産業コンサルティングの情報発信源となるよう運営してまいります。(事務局長)

〒162-0822 東京都新宿区下宮比町2番28号 1020  
飯田橋ハイタウン  
TEL/FAX 03-5228-4418

